



報告

5月17(土)東北新幹線で、那須塩原で下車在来線への乗換の時「今回もやってしまいました」上りと下りを間違えて乗車、西那須野に行くはずが、着いたのは黒磯でした。西那須野に戻り、乗る予定の一時間後のバスで大網バス停で下車、箒川ダムの橋を渡り原生林の中で昼食をとり、ゆるやかな坂道を登り、小峠を少し下った所で岩の間を豪快に流れる布滝を見学、新緑のさわやかな風の中の林間コースを歩き、人気の混浴露天風呂のある「岩の湯」に到着、開放された露天風呂には12～3人入浴中、若いご婦人の姿もあり、一同羨む声を聞きながら少し歩いて、川原に降りて一休み、不動の吊橋を渡り、塩原温泉ビジターセンターに立寄、七つ岩吊橋よりバスにてバスターミナルに行き、宿の車に迎えられ予定より30分遅れでチェックイン。さっそく自慢の「白濁の湯」に浸かり、心づくしの料理をいただき、熱燗にさそわれ、古里、神楽、山、身体、山崎ていじ君の話題で楽しい時間を過ごしました。

2日目は朝湯に浸り、おいしい朝食を腹一杯いただき、8時30分ホテルを出発、「新湯富士の自然研究路」に入り分岐で「ヨシ沼コース」と「富士コース」に別れてスタート、少し登ると爆裂火口より硫黄の臭いと煙が登っています、此处が新湯温泉の源泉でした。

夏ツバキ、ハウノ木、ミツバツツジ、ヤマツツジを見上げながら尾根道を行きオシダの群生地より急登して、新湯富士山頂一休みして大沼方面に下山、大小の岩の登山道を登ってくる子供たちを含むグループと挨拶を交わしながら待ち合せの「大沼園地東屋」に到着、ところが先着しているはずの「ヨシ沼コース」のメンバーが見当たらない、T e lも圏外で連絡が取れず苦戦の末45分後に合流、湿原の中の木道を進んでふり返れば、さっき下山した「新湯富士」が優しい姿を見せてくれました。杉や桧の植林帯の長い坂を下ると、須巻富士直下の分岐に出る、此处でホテルで用意してもらった大きな「おむすび」2個を頂き、全員で階段道を急登、須巻富士山頂で「川崎大師不動尊」に合掌塩釜バス停え、次のバスまで時間があるので少し歩き、七ツ岩の足湯にのんびりと浸り、直行バスで那須塩原に着き、東北新幹線で帰路につきました。



川辺のほとりにて



高原ホテル前庭にて

参加者：原田(A32)石橋(M34)島田(M34)福間(P35)岸(C37)森岡(A37)河野(A40)  
鍛冶(M47)千代延(E47)～平成 26.06.10～